中国経済連合会
〒730-0041 広島市中区小町4番33号(中電ビル3号館3階)
TEL(082)242-4511　FAX(082)245-8305
URL　http://www.chugokukeiren.jp

日刊工業新聞
Business & Technology

第11回CVG中国特集
第２部　２０１３年(平成２５年)１月２５日（金曜日）　１
(第3種郵便物認可)

第11回 学生によるビジネスアイデア提案コンテスト

キャンパスベンチャーグランプリ中国

岡田さんら、中村さんらに最優秀賞

入賞16件 きょう広島市内で表彰式

□■□

キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）中国実行委員会（山下隆実行委員長＝中国経済連合会会長）は25日、広島市中区のリーガロイヤルホテルで「第11回CVG中国」の表彰式を開く。テクノロジー部門の最優秀賞として広島市立大学大学院の岡田誠流さんらの「高齢者や運動弱者のための自律移動支援システム　自律走行車椅子ロボット『マイウェイ』の開発・提案」、ビジネス部門の最優秀賞に広島国際大学大学院の中村直樹さんらの「インターネット上の洋服のバーチャル試着システムの提案」など16件を顕彰し、賞状と賞金を授与する。

CVG中国は中国地方の大学院、大学、高等専門学校、短期大学、各種専門学校などに在籍する学生を対象にビジネスプランを募集、審査して顕彰する制度。学生のビジネスに対する関心を高め起業家精神を鼓舞するのが目的だ。中国経済連合会、中国地域産学官コラボレーション会議、中国四国産業人クラブ、日刊工業新聞社などでつくる実行委員会が運営する。審査は茂里一紘審査委員長（広島県発明協会会長）ら、各分野の第1人者が担当した。今回は17校から108件の応募があった。

（写真は第11回CVG中国審査会より）

～多様な知識、価値観、考えに触れ アイデア磨こう～

議論 "変革"への一歩

CVG中国実行委員長　山下　隆

2012年を振り返ると、わが国の経済は、欧州債務危機や新興国経済の減速にくわえ、中国・韓国との関係悪化なども重なって、先行き不透明な状況が続いております。その一方で、「京都大学の山中教授がノーベル賞を受賞」という明るいニュースが話題となった一年でもありました。

山中教授は、受精卵から「ES細胞」を生成する研究が主流であった再生医療の分野で、皮膚などの体細胞を、細胞分化の時間の流れをさかのぼって初期化するという逆転の発想で、万能細胞「iPS細胞」の開発に成功されました。その出発点となったのは、共同受賞者である英国・ケンブリッジ大学名誉教授のジョン・ガードン博士による研究の成果でした。また、「iPS細胞」の生成に必要となる遺伝子の組み合わせを見つけ出す過程では、研究チームのメンバーとさまざまなアイデアを出し合い、試行錯誤を重ねたということです。

画期的なアイデアは、一人の天才の直感的なひらめきによって生み出されるものと思われがちですが、実際には、元となるアイデアを発展させ、他人の意見も取り入れながらブラッシュアップしていくことで、より優れたアイデアに成長することが多いと聞きます。多様な知識、価値観、考え方を持った人と積極的に触れ合い、議論を重ねることこそが、イノベーション創出の第一歩です。

今回のCVG中国では、新たな取り組みとして、プラン募集に先立ち、学生同士がグループディスカッションを行い、ビジネスアイデアを創出・ブラッシュアップするセミナーを開催いたしました。セミナーは、10の大学から計30名の学生に参加いただき、元気で積極的なディスカッションによって活気あふれるものとなり、学生間の交流も大いに深まりました。今後、このような取り組みをさらに拡大し、大学・高専などが相互交流できる場の提供・ネットワーク作りを推進していくとともに、CVG中国の一層の充実に努めて参りたいと考えておりますので、引き続き地域の皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（中国経済連合会会長）

メッセージ

若い感性で地域の魅力発信を

中国経済産業局長　若井　英二氏

「第11回キャンパスベンチャーグランプリ中国」各賞を受賞された皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

今年度も多くの大学・高専等から100を超える、独創性に富んだビジネスプランを提案いただきました。これも、学生の起業家精神の醸成、チャレンジ精神や創造性に富んだ人材の育成に取り組んで来られた大学・高専等関係各位のご尽力のたまものであり、心から敬意を表する次第です。引き続き、このようなチャレンジ精神を持った学生たちを地域全体で支援していきたいと思います。

さて、日本経済は、長引くデフレなど厳しい状況が続いておりますが、中国地域には若い感性で魅力を発信し続けている経営者や生き生きと地域を引っ張っている女性経営者など、魅力的な経営者が多数おられます。本グランプリに参加された学生の皆さまにも、今回の挑戦をひとつの契機として、アイデアとチャレンジ精神あふれる若い力により、地域をけん引する人材となっていただきたいと期待しております。

当局といたしましても、引き続き本グランプリの開催支援をはじめ、大学等と連携した人材育成やベンチャー企業の支援、若手研究者を中心とした産学官の交流の場である「インテレクチャル・カフェ広島」の開催、若者の起業・創業支援や地域資源等による新事業創出を通じた地域経済の活性化に向けた支援を継続しています。

一緒に日本と地域経済を元気にしていきましょう！

Energia

集まれば、省エネ。

家族みんながこたつを囲んで、一緒に過ごす。
そんな和やかなひとときが、省エネにつながります。
例えば食後の団らんの時間、
家族みんながひとつの部屋に集まれば、
エアコンや照明、テレビなどの電気の使用を
減らすことができます。
さらに家族との楽しいひとときが、
心の中まで温めてくれるはず。
この冬「一家暖(いっかだん)らん」してみませんか。

家庭でできる省エネ情報はこちら
中国電力　検索

中国電力株式会社　http://www.energia.co.jp/